

[小面積向き]

ジョリパット不燃
JQ-200シリーズ
ゆり仕上げ
施工の手引き

平成19年5月25日【初版】

アイカ工業株式会社
第二R&Dセンター
建設樹脂開発グループ

<使用材料>

材 料	商 品 名	概 要	荷 姿	標準施工面積
シーラー	ジョリパットシーラー JS-500	水性タイプ アクリル系 1液型透明シーラー	18kg石油缶	約51.4㎡/缶
主 材	ジョリパット不燃 JQ-200 シリーズ 標準色 JQ-200、JQ-□□□□ (□…数字) 特注色 JQ - 200△○○○ (△…英字、○…数字)	アクリル共重合樹脂 水性仕上塗材	20kg缶	約 8㎡/缶

<主な施工道具>

- ・ マスチックローラー※ (ジョリパットローラーJR-20：9インチ) 又は、ステンレスゴテ
 - ・ 水仙ローラー (ジョリパットローラーJR-20：9インチ)
 - ・ ヘッドカットローラー (平面用：ジョリパットローラー JR-26)
(隅 用：ジョリパットローラー JR-27)
- ※マスチックは全国マスチック事業共同組合連合会、株式会社マルテ大塚の登録商標です。
- ・ リシンガン (口径 4~6mm) ※※
 - ・ コンプレッサー (2.2kW (3馬力) 以上：1台使用の場合) ※※
- ※※下塗りを吹付けで施工する場合。

<下地調整>

標準下地は、石膏ボード (プラスターボード) 又はモルタルとする。

<ゆり仕上げ施工方法>

1. シーラー塗布

配 合	J S - 5 0 0	1 8 k g
	清 水	1 8 ㍓
塗 布 量	0 . 0 7 k g / m ²	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

3時間以上48時間以内

2. 主材 下塗り

配 合	J Q - 2 0 0 シ-ズ [*]	2 0 k g
	清 水	1 . 5 ~ 2 ㍓
塗 布 量	0 . 6 k g / m ²	
吹 圧 力	5 ~ 7 k g f / c m ²	
使用ガン	リシガン口径φ4~6mm	
	※左官業者の場合は、ジョリパット不燃を無希釈で 0 . 6 k g / m ² となるよう金ゴテで平滑に塗布する。 (下ごすり)	

夏期 4時間以上

冬期 12時間以上

◎乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

3. 主材 配り塗り

<塗装業者の場合>	
・ ジョリパット不燃を無希釈で1 . 7 k g / m ² となるよう、 マスチックローラーを上下・左右にローラーを転がし、 均一に配り塗りを行う。(ムラ切り)	
<左官業者の場合>	
・ ジョリパット不燃を無希釈で1 . 7 k g / m ² となるよう、 ステンレスゴテで均一に配り塗りを行う。	

追かけ塗り (5分以内)

4. パターン付け

・ 水仙ローラーJR-20に充分ジョリパット不燃を含ま せる。(図-1)
・ 配り塗りしたジョリパット不燃が乾燥しないうちに、 JR-20ローラーの柄を壁面に近づけ多少引きずるよ うにまっすぐ上から下へ転がす。(図-2)

追かけ塗り (5分以内)

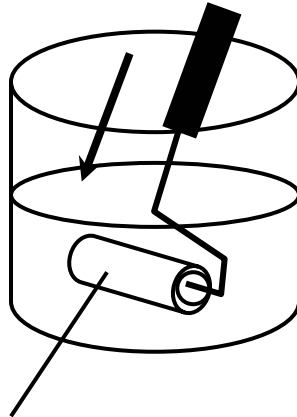
5. ヘッドカット (押さえ)

- ・ヘッドカットローラーJR-26 (平面用) や JR-27 (入隅用) を灯油に充分浸してから、ジョリパット不燃の塗膜表面をヘッドカットローラーが転がるよう軽く押さえる。

24時間以上放置して乾燥させる。

<施工のポイント>

- ・水車ローラーにジョリパット不燃を充分含ませる。



JR-20 (水車ローラー)

図-1

- ・ローラーは、上から下へ一気に引きずるように転がす。
- ・隣のパターンと5~10cm程度、交差するようにローラーを転がすとパターンが連続する。(図-2)
- ・ヘッドカットローラーは灯油に充分浸した後、パターンの凸部を軽く押さえるよう転がす。

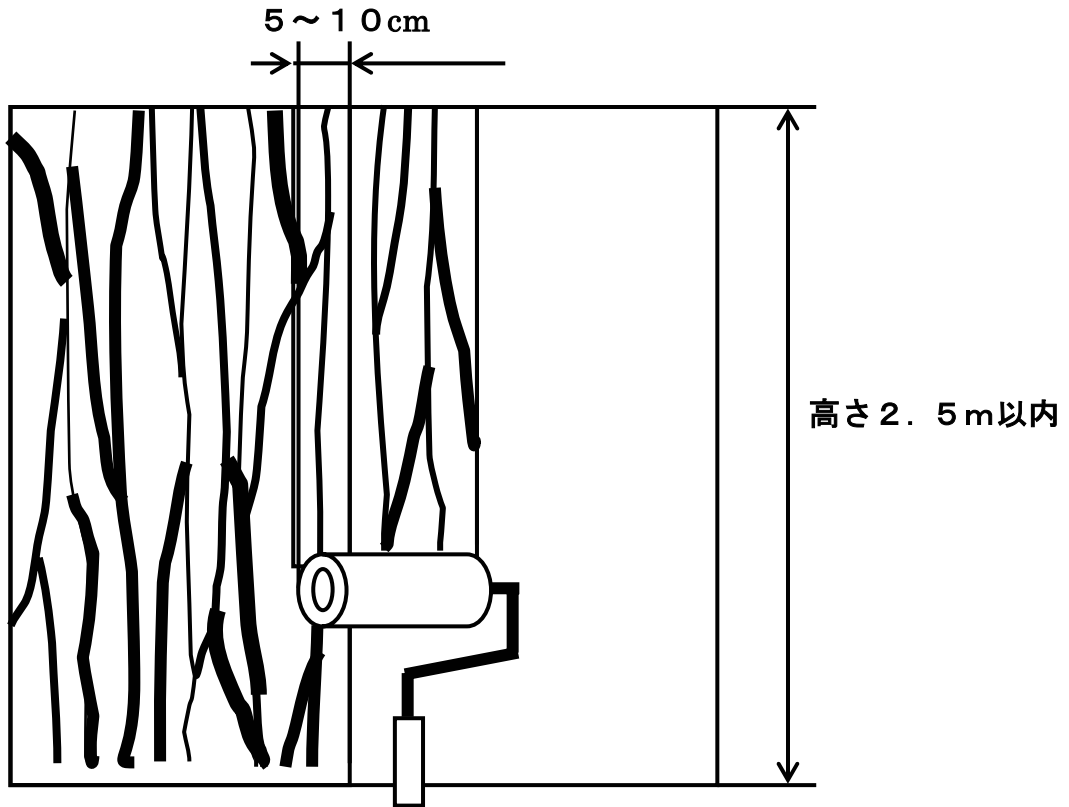
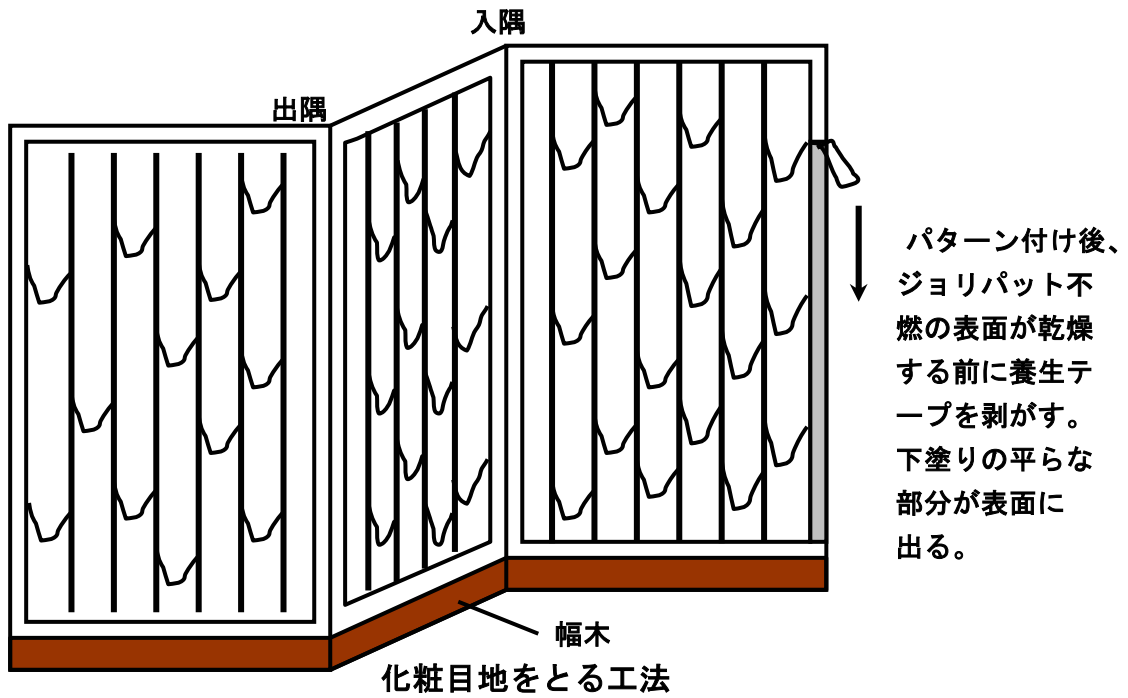


図-2

○入り隅、出隅の処理方法

- ・ 入隅や出隅、幅木のちりは、化粧目地をとる。(図-3)



ジョリパット不燃を下塗りし、完全に乾燥した後、養生テープを貼り、化粧目地をとる。

図-3

<施工の注意事項>

- ・ **内装小面積用で、高さ2.5m以内向けパターンです。**
- ・ 施工場所の気温が5℃以下、湿度85%以上の場合、原則として施工を行わないで下さい。やむを得ず施工する場合は、採暖などの養生を行って下さい。
- ・ 施工前に必ずコンパネ等で試し塗りを行い、仕上がり、乾燥性を確認して下さい。
- ・ 配り塗りは、均一に塗布する。塗布量が少ないとパターンが出ない為、注意する。
- ・ パターン付けは、手のとどく範囲内（高さ2.5m以内）で一気に行ってください。
- ・ 乾燥が比較的速いため、塗り継ぎ時間に注意して下さい。
- ・ 塗板見本及び現場施工時のパターンの状態を、施主等の責任者の承認をいただいた上で施工を進める。

以 上

※ 塗板見本は、すべてコテ配りで作成しています。施工現場においてローラーで配る場合は、塗板見本と仕上がりが若干異なりますので注意して下さい。